

新潟コンベンションセンター建設工事(万代島再開発事業)

受賞機関 新潟県港湾空港局万代島再開発課

はじめに

新潟港は新潟市の信濃川河口付近に位置し、明治元年(1868)に開港した五港の一つとして指定を受けた歴史のある国際貿易港である。

新潟コンベンションセンターは、この新潟港の万代島地区で新潟県が整備を進めている「万代島再開発事業」の中核施設として、民間が建設した「万代島ビル」と一体で整備され、平成15年5月1日開業した。

なお、新潟コンベンションセンターと万代島ビルを合わせて「朱鷺メッセ」(愛称)と呼んでいる。

施設概要

規模：地上4階建

延床面積 約31,000㎡

内容：展示ホール 約7,800㎡

国際会議室 シアター形式約500席

メインホール シアター形式約1,000席

中小会議室 室数11

公共空間 エスプラナード、アトリウム

施設の特徴

施設は三方を信濃川の水辺に囲まれたウォーターフロント空間に位置し、施設の周りには、シンボルトリーを始めとして約千本のブナの木が植えられていて、万代島地区全体が緑豊かな空間となっている。

施設には展示場、会議場、アトリウム、万代島ビ



展示ホール

ル(展望室、ホテル、オフィス、美術館等)の様々な施設があるが、幅10m、高さ6m、長さ340mの屋内公共歩廊「エスプラナード」で繋がれているので、施設の外に出ることなく目的の場所(例えば、国際会議室から万代島ビル内ホテル)に行くことができる。

展示場は最大で1万人の集会が可能だが、可動間仕切りで分割使用することにより、約2千人程度の集会が行える大きさとなるので、全国大会や学会等の会場としても利用しやすい施設である。また、天井高は約16m～約25mの高さがあり、イベント時の吊り物用の吊りポイントが多くあるので、コンサートその他、様々なイベントにも利用できる。

会議室は全室が平床になっているので、会議だけではなくレセプション、簡易な展示会やイベントにも利用できる。また、メインホール、中会議室及び小会議室は可動間仕切りにより分割利用ができるので、様々な人数の会議等に対応できる。

今年5月に開業して以後、たくさんのイベントが行われ、既に多くの方々からご来場いただいた。今後も皆さんから愛される賑わいの空間となることを期待したい。



対岸からの景色(西面)

受賞賛助会員 (株)大林組、鹿島建設(株)、大成建設(株)、(株)福田組、(株)本間組、三井住友建設(株)